

市民と議会を結ぶ架け橋

上野原市 議会だより

No.85

令和8年
5月発行

3月定例会



特集

うえのはらで頑張る人
羽置の里びりゅう館

特集 うえのはらで頑張る人	2
議長あいさつ	4
議会の新構成	4
定例会で決まった主なこと	6
議決結果等一覧表	8
臨時会	9
会期中の審査	10
予算特別委員会	11
一般質問	13
高校生と議会との意見交換会	18
閉会中の委員会活動	19
市民の声	20



うえのはらで頑張る人 Vol.38



羽置の里 びりゅう館

地域を愛し、賑わいと出会いを大切に、楽しい職場で生き生きと働く20代から70代の仲良しスタッフで運営している「羽置の里びりゅう館」の皆さんに、お話を伺いました。

地域の賑わいづくり
お客様と地域のかけ橋に

始めたのはいつですか

■ 始まりは平成13年、地元のメンバーで、「地域の活性化のために何かをしたい」と思う人が集まり運営委員会を作り、スタートしました。

■ 平成22年にNPOを立ち上げて、平成23年から指定管理を受けて現在まで運営しています。
■ NPO立ち上げから、子育ての空いている時間を近場で働こうと思い、現在まで続いています。

「羽置の里 びりゅう館」
名前の由来

■ 羽置の里は、昔、羽置庄という庄園があり鶴が羽を休めた場所という説から、びりゅう館は鶴川支流の「美流沢」の美しい流れにちなんで名付けられたことです。



どの様な雰囲気ですか

■ スタッフは、20代、30代、40代、50代、60代、70代の6ジェネレーションで構成されていることが特徴です。

■ 働いているスタッフが皆優しくにこやかで仲がよく、楽しく14年仕事をしています。

■ 手打ちそばをお客様が、美味しいと言って下さることがやりがいです。

■ 1回のそば打ちは600グラムの粉を25分ほどで打っていますが、見ているお客様に褒められることが励みになります。



■ はじめは、子どもが学校へ通っている空き時間のお手伝いが始まりで、これまでに長く働いてこれたのは、良き仲間と楽しい雰囲気です。仕事ができること、これが大きな理由です。

これからの思いは

■ お客様を大切に、地域の人に来てたいと思ってもらえるようなところになりたいです。

■ 冬の時期は地元の野菜が少ないが、季節野菜や山菜時期には旬の天ぷらを食べに来て欲しいです。そば打ち体験も人気ですよ！



■ 手作り味噌や梅、柚子の合わせ物、おばくご飯もあるので、是非食べに来て欲しいです。

働くなかで気になること 大事なことは

■ 雪や雨が降らないので、畑や飲み水が心配になります。

■ 1月・2月の閑散期はお客が少なく、特にコロナ感染症以降は登山客も少なくなり、営業に様々な工夫をしています。

■ 冬の時期の天ぷら5品の材料確保に自分たちも畑でできるだけ作っています。

自慢できることは

■ びりゅう館を続けることで、西原まつりもできる、来てくれる人が皆良い人なのでこれからも大切な場所になりたい。

■ 年を重ねた先輩が頑張っているの、私たちが頑張れる。



議会や行政へ望むこと

■ 地元産のそばが少なく、生産者が減っているの、そばや雑穀類生産に対する補助金を出して地元そばを提供できるように欲しい。

■ お客様が来たくてもバスが無いので来てもらえない。地域の為の足となる様なものを考えて欲しい。

■ 物価高騰、人件費高騰が続く中で、経営が厳しい状況は今後も続くので、指定管理料を増やして欲しい。

取材を終えて

標高約550メートルに立地するびりゅう館。取材に伺ったときは数日前に降った雪が残る2月の寒い日でした。一番の印象は、働いている皆さんが、本当に仲が良いこと。年令層を感じない。20代の若者は「西原は人がいい、景色がいい、水がおいしいところ」と、自信をもって語る姿が、これからも末永くこの地で頑張ってもらいたいと思う一日でした。



議長 内田 倫弘



副議長 安留 俊介

議長就任のあいさつ

議長 内田倫弘

市民の皆様には、平素より市議会に対し深いご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

この度、令和8年第1回定例会において、議員各位のご推挙をいただきまして、上野原市議会第22代議長に就任いたしました。このような大任を拝し誠に光栄であり、議長という重責に身の引き締まる思いであります。

一元代表制の一翼を担う市議会は、市長をはじめとする執行部と対峙する存在であると同時に、市民の声を政策に反映させるための合意形成の場であります。公平・公正な議会運営を行い、建設的な議論を最大限に引き出し、議会としての役割を果たしてまいります。

当市を取り巻く環境は、人口減少を背景に厳しい状況です。少子化に伴う子供たちの教育環境の整備、商工業をはじめとする産業の振興、高齢化社会にむけた福祉サービスの環境整備など課題は多岐にわたります。今後も引き続きこれらの課題に対し議論を重ね、市民の皆様の声を政策に反映し、市民の皆様が安心して暮らせる上野原市にむけ邁進してまいります。

今後市民の皆様方の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。議長就任のご挨拶とさせていただきます。

議会活性化特別委員会

◎長田喜巳夫 ○小保 崇
議長を除く13人の議員で構成

予算特別委員会

◎八木 一雄 ○清水 一明
議長を除く13人の議員で構成

議会運営委員会



佐藤 澄男 清水 一明 天野 淳一
○白鳥 純雄 ◎八木 一雄 小保 崇

◎は委員長 ○は副委員長



八木 一雄 山口 薫 小俣 崇
長田喜巳夫 ○佐藤 澄男 ◎東山 洋昭 杉本 公文

総務産業常任委員会



安留 俊介 内田 倫弘 天野 淳一
遠藤美智子 ○川田 好博 ◎清水 一明 白鳥 純雄

文教厚生常任委員会



山口 薫 東山 洋昭 八木 一雄
長田喜巳夫 ○遠藤美智子 ◎白鳥 純雄 杉本 公文

広報広聴常任委員会

3月 定例会

定例会で決まった 主なこと

令和8年第1回定例会が2月26日から3月18日まで21日間の会期で開かれました。

審議された議案

市長提出議案	50件
選挙	1件
計	51件

※議案名・議決結果等は8〜9ページをご覧ください。

条例 改正

一般廃棄物における粗大ごみの処理手数料が見直されます

粗大ごみの予約収集と持ち込み収集の手数料を、持ち込み収集の料金に統一し、予約収集の1回当たりの手数料に収集運搬費が加算されます。

施行日 令和8年4月1日

議案第8号 上野原市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定について

条例 制定

市内の特定乳児等通園支援事業者が運営上従うべき基準等について定める条例

子ども・子育て支援法の改正に伴い、条例を制定するものです。

施行日 令和8年4月1日

議案第9号 上野原市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について

条例 改正

子育てにかかる経済的負担軽減を図るための条例改正

18歳までの子どもの入院時食事療養費の自己負担分を医療費助成の対象に追加する条例改正です。

施行日 令和8年4月1日

議案第10号 上野原市重度心身障害者医療費助成条例等の一部を改正する条例制定について

議案第13号 令和7年度上野原市一般会計補正予算(第6号)

補正
予算

補正総額 8千979万2千円

〈主な事業費〉

- 扇山山林火災関連事業 4230万8千円
- 避難所環境改善事業 2838万2千円
- 後期高齢者医療費 1524万6千円



上空からの扇山山林火災

議案第47号〜第49号 上野原市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について
議案第50号〜第51号 人権擁護委員候補者の推薦について
議案第53号 上野原市教育委員会委員の任命の同意について

人事
案件

各種委員会委員の推薦と同意

上野原市固定資産評価審査委員会委員

- 志村 正仁氏
- 杉本 茂氏
- 青木 光昭氏

人権擁護委員候補者

- 岡本 和洋氏
- 石井 千晴氏

上野原市教育委員会委員

- 名取 真喜氏

選挙

選挙第3号 小金沢土室山恩賜県有財産保護組合議会議員の補欠選挙について

指名推薦により当選

小金沢土室山恩賜県有財産保護組合議会議員1名が
欠員となっていたため、補欠選挙を行い、細川重治氏
が当選しました。

令和8年第1回定例会議決結果等一覧表

第1回 定例会

◆賛否のあった議案 (○賛成 ●反対 ◎賛成討論者 ●反対討論者)

議案番号	付託委員会	案件名	天野淳一	佐藤澄男	清水一明	宮留俊介	小俣崇	内田備弘	八木一雄	山出薫	白鳥純雄	遠藤美智子	川田好博	東山洋昭	杉本公文	長田喜巳夫	審議結果	
9	文教厚生	上野原市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について	○	○	○	○	○		○	○	○	○	●	○	○	○	可決	
18		令和8年度上野原市一般会計予算	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	●	○	○	○		
19	予算特別	令和8年度上野原市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	●	○	○		○
20		令和8年度上野原市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	●	○	○		○

◆全会一致の議案

議案番号	付託委員会	案件名	結果
4	—	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度上野原市一般会計補正予算（第5号））	承認
5	総務産業	上野原市旅費等の特例に関する条例制定について	可決
6		上野原市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例制定について	
7		上野原市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例制定について	
8	文教厚生	上野原市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定について	
10	文教厚生	上野原市重度心身障害者医療費助成条例等の一部を改正する条例制定について	
11	総務産業	上野原市消防委員会条例の一部を改正する条例制定について	
12	総務産業	上野原市火災予防条例の一部を改正する条例制定について	
13	—	令和7年度上野原市一般会計補正予算（第6号）	
14		令和7年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	
15		令和7年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	
16		令和7年度上野原市介護保険特別会計補正予算（第3号）	
17		令和7年度上野原市病院事業会計補正予算（第1号）	
21	予算特別	令和8年度上野原市介護保険特別会計予算	
22		令和8年度上野原市介護サービス事業特別会計予算	
23		令和8年度上野原市教育奨励資金特別会計予算	
24		令和8年度上野原市大目財産区特別会計予算	
25		令和8年度上野原市甲東財産区特別会計予算	
26		令和8年度上野原市蔵財産区特別会計予算	
27		令和8年度上野原市島田財産区特別会計予算	
28		令和8年度上野原市上野原財産区特別会計予算	
29		令和8年度上野原市檜尾根外十二恩賜林保護財産区特別会計予算	
30		令和8年度上野原市小金沢土室山恩賜県有財産保護組合西原分収益事業特別会計予算	
31		令和8年度上野原市秋山財産区特別会計予算	
32		令和8年度上野原市西棚ノ入外十一恩賜林保護財産区特別会計予算	
33		令和8年度上野原市下水道事業会計予算	
34		令和8年度上野原市簡易水道事業会計予算	
35		令和8年度上野原市病院事業会計予算	
36	総務産業	上野原市過疎地域持続的発展計画の変更について	
37	—	上野原市和見辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について	
38	—	上野原市棚頭辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について	

令和8年第1回定例会議決結果等一覧表

議案番号	付託委員会	案件名	結果
39	-	上野原市猪丸辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について	可決
40		上野原市沢渡辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について	
41		上野原市西原辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について	
42		上野原市飯尾辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について	
43		上野原市秋山安寺沢辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について	
44		上野原市寺下辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定について	
45	総務産業	上野原市道路線の認定について	-
46		字の区域の変更について	
47	-	上野原市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	同意
48		上野原市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	
49		上野原市固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について	
50	-	人権擁護委員候補者の推薦について	適任
51		人権擁護委員候補者の推薦について	
52	-	令和7年度上野原市一般会計補正予算（第7号）	可決
53	-	上野原市教育委員会委員の任命の同意について	同意
選挙3	-	小金沢土室山恩賜県有財産保護組合議会議員の補欠選挙について	当選

※ 「-」は委員会付託が省略された議案です。

令和8年第1回臨時会

議案番号	付託委員会	案件名	結果
1	-	上野原市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	可決
2		令和7年度上野原市一般会計補正予算（第4号）	
3		令和7年度上野原市簡易水道事業会計補正予算（第4号）	

- 物価高騰対応大学生高校生等支援事業
1,809万6千円
- 物価高騰対応重点支援金交付事業
1億2,319万円
- 物価高騰対応子育て応援手当費
1億8,781千円
- 簡易水道事業費、施設管理費
1億6,969千円
- 東部地域広域水道企業団費
7,500万円

〈主な事業費〉

正
補
算
予
算

補正総額

3億6,868万6千円

議案第2号 令和7年度上野原市一般会計補正予算（第4号）

1月15日、令和8年第1回臨時会が開かれ、物価高騰対応のための補正予算を含む、3件の議案が審議され、いずれも全会一致で原案どおり可決されました。

総務産業常任委員会

委員長 東山洋昭
副委員長 佐藤澄男
委員 小俣 崇
八木一雄
山口 薫
杉本文夫
長田喜巳夫

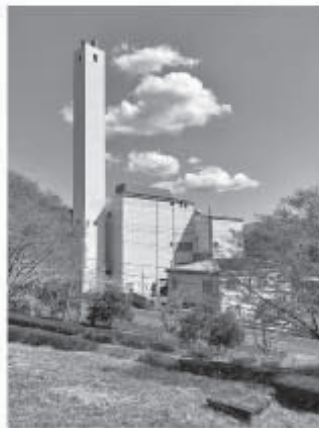
3月2日、委員会を開催し、付託された条例制定5件、過疎地域持続的発展計画の変更1件、市道路線の認定1件、字の区域の変更1件を審査しました。

議案第5号「旅費等の特例に関する条例制定について」は、令和8年度は公務での旅費の日当を支給しないと定めるものです。

議案第6号「市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例制定について」は、支給月数や期末手当も平準化、また通勤手当の改正と駐車場利用の手当を新設するものです。

議案第7号「市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例制定について」は、緊急消防援助隊として出場した職員に手当を規定するものです。

議案第11号「消防委員会条例の一部を改正する条例制定につ



いて」は、議員の定数を「2人以内」に改めるものです。

議案第36号「上野原市過疎地域持続的発展計画の変更について」は、期間及び事業内容の変更を行うものです。

以上、当局提出8案件については、全会一致で原案どおり可決すべきものと決定しました。また、ごみ処理に関する契約等について閉会中の継続調査とすることとし、多方面にわたる調査が必要であることから、文教厚生常任委員会と合同での視察調査を行うことに決定しました。

文教厚生常任委員会

委員長 清水一明
副委員長 川田好博
委員 天野淳一
安留俊介
内田倫弘
白鳥純雄
遠藤美智子

3月2日、委員会を開催し、付託された条例制定3件について審査しました。

議案第8号「上野原市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例制定について」は、粗大ごみの処理手数料の適正化に伴い、粗大ごみの予約収集に係る手数料を改定するものです。

議案第9号「上野原市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定について」は、子ども・子育て支援法の改正に伴い、市内の特定乳児等通園支援事業者が、運営上従うべき基準等について定めるものです。

議案第10号「上野原市重度心身障害者医療費助成条例等の一部を改正する条例制定について」は、子育てに係る経済的負担の軽減を図るために、18歳までの子どもの入院時食事療養の自己負担分を医療費助成の対象



に追加するために条例改正を行うものです。

以上、条例3件について採決を行った結果、議案第9号については異議があったため起立採決を行い、他2件については全会一致により、いずれも原案どおり可決すべきものと決定しました。

委員から、廃棄物処理について調査すべきとの意見があり、この調査には多方面から行う必要があることから、総務産業常任委員会と合同で視察調査を行うことに決定しました。

8年度
予算

当初予算の審査を行いました



副委員長 清水 一明



委員長 八木 一雄

第1回定例会で、議長を除く13人の議員で構成される予算特別委員会が設置され、これから1年間、予算の審査を行います。

3月4日、5日、9日の3日間にわたり、令和8年度予算の審査を行いました。総括質疑を含め、109件の質疑が行われました。

以下、主な事業の質疑について、その概略を掲載します。

一般会計

歳入・歳出

115億4455万2千円

前年度比2.1%減

特別会計(14会計)

歳入・歳出

66億900万5千円

前年度比1.3%増

予算特別委員会委員

委員長 八木 一雄

副委員長 清水 一明

委員 天野 淳一 佐藤 澄男 安留 俊介

小俣 崇 山口 薫 白鳥 純雄

遠藤美智子 川田 好博 東山 洋昭

杉本 公文 長田喜巳夫

質 問 と 答 弁

子育て世代住宅取得支援

Q 結婚新生活応援事業と子育て世代住宅取得支援事業の関係性は。

A 結婚から婚姻後5年以内の世帯を対象に住宅支援をしています。各事業で補助要件が異なりますが、結婚新生活応援事業で賃貸補助を受けた世帯が、その後子育て世帯として住宅改修に係る補助を受けることも可能です。

人口透析患者支援

Q 市外に通院する透析患者に交通費を助成する事業ですが、市内で治療する患者への支援策は。

A 市内には72名の患者がおり、その内交通費に負担が大きい市外の医療機関に通院する39名の方を対象に、月額6千円を上限に支給する市の単独の事業で、現在、市内の市立病院で治療する方への支援策はありません。

ふるさと納税返礼特産品

- Q 返礼品特産品開発に取り組む事業者に上限100万円、5件を予定しているが内容は。
- A 募集について、広報3月号と市のホームページでお知らせしました。現時点で2者から事前相談を受けています。7年度は、みつばち農場のホーリーバジル関連商品、神坂養魚場のご当地サーモン、農天氣の雑穀の詰め合わせ、びりゅう館のゆず・ゆずセットなどに補助しています。

市民活動支援事業

- Q 昨年度の実績からすると当初予算の300万円を増額すべきと考えるが。
- A 基本的にこの事業に関しては、市民活動のスタートアップ時の支援を目的としています。申請団体には市の現状について理解を求めながら、公平に支援をしていく予定です。当初予算の範囲で対応していきます。

花粉症対策事業

- Q 森林環境譲与税を活用する事業の面積など具体的な内容は。
- A 梶原地区、軍刀利神社周辺の杉林、2ヘクタール程の面積を伐採して、広葉樹を植林する事業者に対し、伐採木の搬出費用として助成金を交付する予定です。

ミューの森タクシー補助

- Q 昨年から「ミューの森」に宿泊者の、上野原駅からタクシー利用への補助により、集客数の変動は。
- A 今年1月までの来客数は1,900件です。その内、タクシーの利用は198件で、約1割の利用者がありました。一定の集客に繋がったと判断しています。

消防署出張所の運営

- Q 消防署の梶原・秋山出張所の運営について、人員不足で本署へ引き上げ閉鎖されている日があるが、来年度はどの程度改善されるのか。
- A 昨年は220日以上閉鎖していますので、本年度8名の職員が入りましても、階級的なこともあり、昨年と同程度と予測しています。

防災備蓄食料品の数量

- Q 防災の備蓄食料品は、全部で何人分で何日分を用意しているか、そのうち、一人暮らしの在宅避難者の数は考えているか。
- A 避難者想定1,700人が、一人3食で3日分、計3万5千食を用意しています。この数の中には、帰宅困難者1,800人分、災害時要配慮者等在宅避難者分も含んでいます。

各議員の主な質問項目

【長田喜巳夫 議員】

- 1 まちづくり基本条例について
- 2 総合戦略について
その他

【東山 洋昭 議員】

- 1 中央道北側「公正屋」から「諏訪橋」までの改修と幅員拡幅について
- 2 市認定観光ボランティアガイドについて

【安留 俊介 議員】

- 1 デジタルデバイド対策について

【杉本 公文 議員】

- 1 生活道路の整備推進について
- 2 中高一貫教育連携事業について

【小俣 崇 議員】

- 1 災害弱者の避難計画について
- 2 ごみの減量化・資源化の推進について
その他

【清水 一明 議員】

- 1 市民の安全・安心を守る消費者行政の充実について
- 2 簡易水道組合等の管理移行について
その他

【川田 好博 議員】

- 1 市民の経済状態
- 2 年金生活者
その他

【白鳥 純雄 議員】

- 1 希望の持てるまちづくり

【遠藤美智子 議員】

- 1 災害への備え

【山口 薫 議員】

- 1 都市計画道路（水路通り線）の改良について
- 2 防災行動力の向上対策について
その他

総合計画について

質問

総合計画については、平成23年に自治法が改正され策定は任意となっている。しかし、長期的なビジョンを必要とするものではなく、多くの自治体で引き続き策定している。改めて総合計画とは何か問う。

答弁

総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本構想と基本計画であると認識しています。

質問

第1次総合計画では、①総論の中で地域の課題②基本構想で将来像③基本計画で政策が6つ示され、現状と課題、施策の方向、目標が決められている。見解は。

答弁

上野原町と秋山村の合併に伴い、新市建設計画が策定され、新市建設計画の基本方針、将来像を具体的に推進する施策を体系づけ、均衡ある発展と住民福祉の向上を図るために、総合計画は策定されました。

質問

市民に総合的な将来ビジョンを示し、総合計画と総合戦略の2本の柱で持続可能で将来に希望の持てるまちづくりを推進することは重要である。改めて総合計画策定の意義について問う。

答弁

地域の目指すべき姿を明確にし、総合的かつ計画的に施策を推進するための羅針盤であると認識しています。当市の独自の目指す方向を示した、総合計画を策定していくことは、行政の役割であり任務と考える。

意見

他に、まちづくり基本条例、総合戦略、人口減少とまちづくりについて質問しました。



長田喜巳夫

中央道北側公正屋から諏訪橋までの
改修と幅員拡張



東山洋昭

質問

路線名と長さ、渋滞箇所と歩行者の安全確保、交渉相手先は。

答弁

そのとおりです。

質問

財源確保については。

答弁

起債や有利な財源の活用など、幅広く検討し、また必要な事業計画の模索等も考
えなければなりません。

意見

この路線は歩行者の安全確保は勿論、小学生にとつては通学路の一部にもなっています。改修と幅員拡張については、過日に地区区長連名での要望書も提出されています。安全に通行できるように早期実現に向けて対応をお願いします。

他に、市観光ボランティアガイドについて質問しました。

質問

(情報格差)
デジタルデバイス対策について



安留俊介

市では、公式ホームページやスマホ市役所などを活用し、積極的に情報発信を行っており、それらの情報を受け取るためにはスマホ

が必要となるが、市民

の皆さんがどのくらい保有

し活用しているのか調査を

行い、その現状を把握して

いるか。

独自に調査・把握したデー

タはないが、スマホを前提

とした生活様式が定着して

おり、特に高齢者やデジタ

ル環境に不慣れな市民に対

しては、丁寧な周知と対応

を心がけ、デジタルデバイ

ドの解消に努めていきま

す。

具体的には、今後、どのよ

うに取り組んでいくのか。

操作方法だけでなく、公式

ラインの登録や便利機能の

活用方法についても学んで

いただけるよう、高齢者向

けスマホ教室を各出張所単

位で開催するなど、「誰一

人取り残されない、人に優

しいデジタル化の実現」を

基本理念として施策を展開

します。

意見

思っている以上にスマホの保有率や活用率は低いのではないのでしょうか。現状を把握できていなければ、的確な対策は実施できません。一人でも多くの市民の皆さんが市からの情報を受け取れるよう、しっかりと現状を見極めた上で、積極的かつ迅速なデジタルデバイス対策が実施されることを望みます。

質問

一般的に隣接する土地所有者へ理解を求めるには、道路拡幅工事の工法等を検討した中で、同意に向けて協議を行っているものと理解しているが。



市道の狭あい箇所

質問

答弁

具体的には、今後、どのよう

に取り組んでいくのか。

操作方法だけでなく、公式

ラインの登録や便利機能の



国道の上野原バイパス計画
中高一貫教育連携事業の状況



杉本公文

住み暮らし続けたいまち上野原



小俣 崇

質問

休日等の中心市街地における国道20号線の渋滞緩和、解消の為、バイパスの実現に向けた検討の状況は。

答弁

現状では具体的なルート等の策定には至っていない状況で、今後、渋滞緩和や住民の生活環境向上の為、策定した都市計画道路路について事業を進めます。

意見

市長が知事にバイパスの実現を要望した経緯がある。実現に向けた検討を願う。

質問

中高一貫教育は市長の公約した事業ですが、県教育委員会との協議の状況は。

答弁

この取り組みについては、少子化に伴い高校の受験者数の減少等の現状を踏まえ令和5年6月に知事と県教育長に対し、上野原高校のあり方についての要望を行い、令和6年4月に知事から、上野原市立中学校と県立上野原高校との中高一貫教育の導入を目指す。との

考えが示され、市からの要望以降、県教委と、計14回の協議を実施し、現在も、上野原地域の実情に合った最も教育効果の高い、中高一貫教育のあり方についての検討をしています。

協議を重ねていますが、検討して合意した事項は。

質問

答弁

県教委と多種多様な形態について協議検討しており、現在、まだはつきり合意して報告できる事項はありませんが、中高一貫に向け動きだしていることを理解願います。今後も県と歩調を合わせ、お互いの教育環境の充実が図れるよう進めていきます。

質問

災害時、自ら避難することが困難な人の個別非難計画は、具体的な方針や実施要領等を示し、計画の早期策定を図るべきでは。

答弁

個別避難計画は、地域住民の安全確保に重要な取り組みと認識しています。来年度は、支援が必要な方と直接繋がりのあるケアマネージャーの方々等に個別避難計画の策定に係る趣旨、方針等を丁寧に説明し、理解の上で策定を進めます。

質問

指定ごみ袋制度等の導入に向けた地区説明会が開催されました。市の説明の意図が、市民の皆さんにどの様に受け止められたか、伺います。

答弁

市民からの意見は、具体的な分別の対応方法や実施方法の声が届きました。ごみの減量化・再資源化の取り組みに関する積極的な意見もあり、今後の施策への反

質問

映を検討します。説明会に参加できなかった方々には、説明内容の資料を重ねて周知していきます。

質問

住みたいまち、住みたくないまちは、下水道の普及率が高い地域です。普及率を上げて住みやすいまちづくりを進めることが上野原市の課題では。

答弁

下水道の整備は、「住みやすいまちづくり」の重要な要素であると認識します。今後は、認可区域内での施工が困難な区域は、合併処理浄化槽の普及促進を図り、地域の実情に合わせた効率的な整備手法を選択することが重要です。



簡易水道組合等の管理移行について



清水一明

質問

簡易水道等整備費市補助金交付基準について、補助率や交付範囲について、具体的にいつまでに、どのような見直しを行うのか。

答弁

現在進めております財政協議においては、現行の二分の一から三分の二への補助率の引き上げについて、調整が図られたところですので、令和8年度中に実施していきたいと考えています。

質問

ろ過設備が未整備の水道組合の実態についてと水質上の課題は。

答弁

大雨等により取水する沢等が濁った場合には濁りがそのまま供給されてしまい、塩素滅菌の管理に支障をきたす場合があります。

質問

上野原市の水道事業の推進方針について、市長の考えは。

答弁

簡易水道組合等の支援は、一朝一夕に解決できる問題



水道の取出口

質問

子育て支援については、住まい、雇用、教育を含む広範囲にわたった家庭の支援が必要では。

答弁

今後も子育て世帯が安心して暮らせるよう全庁的に取り組んでいきます。

質問

将来の不安解消にセーフティーネットの充実が必要では。

答弁

結婚や子どもを持つことに對する経済的な不安の軽減や雇用の安定など将来に對する不安を解消し、心理的な不安を解消するために、社会保障を含めたセーフティーネットの充実が必要と考えています。

質問

生活保護や就学援助に對する誤解や偏見を取り除くことが必要では。

答弁

就学援助制度についても、社会的な偏見や誤解、あるいは他人に迷惑をかけてはいけないという遠慮から、申請をためらう家庭がある

子育て支援は広範囲な課題



川田好博

ことは、解決すべき重要な課題と考えています。

質問

不登校の解消のために、学校の教職員が、児童・生徒と向き合う時間を十分に取れることが必要では。

答弁

教職員が余裕を持って児童・生徒一人一人と向き合う時間を確保することは、大変重要な意義があるものと認識しています。

質問

制服や修学旅行積立金などの教育費負担の軽減を。

答弁

いわゆる隠れ教育費と言われる保護者負担が重いことは認識しています。どのような事業が必要とされているのかを精査し、優先度も考慮し協議を行います。



希望の持てるまちづくり



白鳥純雄

災害への備えについて



遠藤美智子

質問 市内で就労する個人や企業等に、就業者向け定住促進住宅が必要、市の定住対策面でも検討が必要と思うが、取り組みを伺います。

意見 上野原市だけの問題では無いです。他の市町村とも連携し、国や県に働きかけて、子どもの教育最優先で取り組んで欲しい。

質問 市にとっても定住人口の増加等、個人や企業それぞれにメリットが生じ得ると考えます。就労者支援住宅の整備・活用を含む総合的な住宅施策について調査研究を進めていきます。

質問 各水道組合の問題解決に数年かかるが、直ぐにでも対処が必要な組合への対応の検討を伺います。

質問 各組合の事情がそれぞれ異なることから、相談には個別に対応し、早急に対応が必要な組合から順次対応していきます。

質問 小学校の遊具で、使用できない物があると聞いていますが、遊具の管理状況を伺います。

質問 他に、地域活性化策、弱者対策等について質問しました。

質問 「遊具の安全に関する基準2024」の、基準の改訂により学校の多くの遊具が基準を満たさなくなり、使用禁止の措置を採っています。令和8年度早々に、配置計画を練り直す予定を組み、計画が確定した後、順次新設や移設、修繕を行っていく予定です。

質問 地震や台風などの災害時の指定避難所の電源確保は。ガソリンとガスのどちらかで稼働するハイブリッド発電機と蓄電器を配備しています。

質問 第1次国土強靱化実施計画に、太陽光パネルや蓄電池などを組み合わせた再生可能エネルギーの導入が明記されたが。

質問 本市では、災害・停電時の対応を考慮し、活用可能な自律分散型エネルギー設備の導入推進を検討しています。

質問 昨年引き続き令和8年度も国からの補助対象が予算化されています。活用しない手はないと考えます。

質問 過去に発生した大規模地震で火災発生の原因の6割が通電火災によるもの。また、家具転倒による下敷きで犠牲者も少なくない。平時の備えに対する補助事業

質問

として、感震ブレイカーの設置や、家具転倒防止器具の設置に補助事業の導入について、本市の考えは。感震ブレイカーは、現在の設置状況を把握したうえで、設置補助については、どちらも関係各課と協議し検討します。医療的なケアが必要な方の個別避難計画の作成は、現在までに4件との事ですが、平時の避難訓練の実施が重要と考えますが。本年1月に実施する予定でしたが、山林火災の影響で中止となりました。今後も実施に向けて検討を進めていきます。



漏水管仮設工事

感震ブレイカーを
設置しましょう!!



大地震時等、近くの一時集合場所へ
集まり、近隣住民で共助の活動を



山口 薫

質問

大災害発生時、住民間で消
火や応急手当、救助を行え
ば、犠牲者は8割減るとの
こと。近隣住民が安否や被
害の確認場所として、「一
時集合場所」を組むことに決
めておくこと及び看板の配
置も必要であると思うが。

答弁

一時集合場所は、近隣住民
が安否、被害、避難状況を
確認できる場所です。地域
で場所を指定するともに、
看板も要望があれば支
給します。

質問

の声を踏まえ、沿道の住民
や水路管理者等と協議して
いきたいと考えています。
温暖化を助長する生活スタ
イル、①限りなき便利さの
追求、②使い捨て文化等経
済優先主義、③自然破壊、
これらを変えていく必要が
あると多くの学者が訴えて
います。当市の今年度の二
酸化炭素排出量の削減目標
について伺います。

答弁

今年度削減目標6260ト
ンとして、一般廃棄物焼却
による排出量削減、指定管
理者施設における再生可能
エネルギー由来電力への切
り替えも必要であります。

質問

水路通りは、交通量も多く
狭い箇所も多い道路です。
歩道は大きな段差が多数あ
り車椅子では容易に通行で
きず、歩行者も段差を解消
して欲しいといっています。こ
の歩道の段差を2cm以下に
改善する等バリアフリー化
を検討すべきだと思うが。

答弁

今後道路整備等の際には、
歩行者と車両の安全性の確
保、高齢者や車椅子使用者

災害時
一時集合場所

地震などの災害時には、こ
こに集まって集団で指定
の場所へ避難しましょう。



「一時集合場所」の看板

高校生と議会との意見交換会

市議会では、令和8年3月23日(月)、高校生と議会との意見交換会を開催しました。

当日は、上野原高校の生徒38名と議員を交えた5つのグループに分かれて意見交換を行い、最後に各グループの高校生1名から発表を行っていただきました。

テーマ

「私たちが、今、住んでいる地域に望むこと」

主な意見

- ・ 高校生の居場所づくり
 - ・ 通学する公共交通機関の利便性の充実
 - ・ 通学路の安全確保
 - ・ 空き家・空き店舗の活用
 - ・ 若者が参加しやすいイベントの開催
- 他、多くのことで意見交換をしました。



閉会中の委員会活動

総務産業常任委員会

委員長 山口 薫
副委員長 小俣 崇
委員 佐藤澄男
八木一雄
東山洋昭
杉本公文
長田喜巳夫

2月5日、閉会中の調査として、市内数力所の「耕作放棄地と遊休農地の現状」を視察しました。

耕作を放棄すると、農地の荒廃が進み隣接する土地への雑草等により悪影響を及ぼすこともあり、市にも年に数件の苦情が寄せられているとのことでした。また、高齢化や担い手不足が進む中、耕作放棄地等の増加が懸念されることについては、新たな担い手への貸し付けや退職者・移住者など、小規模でも新たに農業を始めたい方への積極的なサポートを市として行っていくとのことでした。

委員から、耕作放棄地の農地面積の算出は出来るのかという質問については、農地台帳から面積を示すことは可能であること。また、市街地の耕作放棄地等について、農地として固定資産税が課せられているが、適切な管理が行われていない場合

は、税制の検討が必要ではないかとの意見がありました。

市内の耕作放棄地等の対策については、耕作の放棄の状況に常に把握しておかなければ、これらの土地を有効活用する政策を進展させることは困難であることから、より一層の現状把握と迅速かつ適切な対策に努めることが重要であることを要望しました。



市内の耕作放棄地等を調査

文教厚生常任委員会

委員長 天野淳一
副委員長 安留俊介
委員 清水一明
内田倫弘
白鳥純雄
遠藤美智子
川田好博

2月2日、閉会中の調査として、「障害者支援について」視察を行いました。

始めに、担当課から説明を受けました。障害児支援の課題として、障害児発達支援事業所からこども園等へ移行後のフォローアップ体制、学校や放課後デイサービスでも一貫した支援を受けられる体制が必要である。また、就労系サービスについては、精神障害者の特性に応じた就労支援プログラムを提供できる事業所の誘致・整備を進め、住まいと就労の場をセットで整備し、地域での自立を支援することが重要であるとのことでした。

次に、現地に伺い「上野原福祉作業所」では、地域活動支援センターと就労継続支援B型事業所を運営しており、重度の障害をお持ちの方から一般就労が可能と思われる方まで幅広い支援を行っています。「グループ



上野原福祉作業所

ホームわかば」では、自炊できる環境が整っていますが、月曜日から金曜日は世話人の方が、朝食と夕食の準備、相談対応も行っています。「生活介護事業所ローグ」では、年に数回のイベントを開催し、メンバーの方がバックや缶バッジ、ポップアップ作成、ポスターの作製など多岐にわたる作業が行われているとの説明がありました。

今後は地域全体で支える仕組みを検討し、支援を強化できるように要望しました。

世界丸ごと平和な世界を目指して

市民の声

上野原の皆様、こんにちは。「和合」として夫婦でアーティスト活動を行っている佑介・美乃と申します。

夫の佑介は、笛や侍の精神性や剣術を通じた心身の整え方など、日本の平和な精神性を海外の方へワークショップや公演を通してお伝えしています。妻の美乃は、クリスタルボウルの演奏や歌、舞を通じて、癒やしをお届けしています。



和合 -wago-
佑介・美乃

また、獣害駆除で失われた地域の鹿たちの皮を活用したドラム作りのワークショップや、動物たちの慰霊祭を主催し、人と自然、動物たちが手を取り合って共生できる未来を目指しています。

また、去年は地域の獅子舞に舞手として参加させていただき、皆様の連帯感や優しさ、素晴らしい演舞に感動し、その一員とさせていただけたことを嬉しく思っております。今後とも、夫婦共々どうぞよろしく願いいたします。

6月定例会予定

日	月	火	水	木	金	土
5/31	1	2	3	4 本会議 (初日) 傍聴可	5 議案調査	6
7	8 委員会 予算特別	9 議案調査	10 委員会 総務産業 文教厚生	11 議案調査	12 議案調査	13
14	15 議案調査	16 本会議 一般質問 傍聴可	17 本会議 一般質問 傍聴可	18 本会議 一般質問 (予備日) 傍聴可	19 本会議 (最終日) 傍聴可	20

議会の傍聴について

通常の傍聴には予約の必要はありません。傍聴当日、3階議会事務局受付までお越しください。

委員会の傍聴については、委員長の許可が必要です。

託児サービスをご利用ください



市議会では、一般質問を傍聴する際、満1歳以上から就学前までのお子さんを無料でお預かりする託児サービスを実施しております。

ご希望の場合は、傍聴希望日の1週間前までに、議会事務局(62-3344)へお申し込みください。

編集後記

長期間続くロシア軍のウクライナ侵攻、突如始まったイスラエルとアメリカによるイラン攻撃、大国による戦争に経済も巻き込まれ、物価高騰、資材の高騰、燃料の高騰等、お米の価格が下がり始めた中で石油関連製品が値上がりし、私たちの生活が楽なる時が来るのか不安になり、あたり前の幸せを感じられる日々が来ることを願います。議会だよりも市民の皆様に取りってもらえる読みやすい紙面を作る努力を重ねています、議員任期最後の1年新しいメンバーでの発行となりますが、皆様のご期待に添えるよう頑張りますので、よろしくお願いします。(白鳥純雄)



YouTube
QRコード



議会だよりの
QRコードです



広報広聴常任委員会

- 委員長 白鳥 純雄
- 副委員長 遠藤美智子
- 委員 八木 一雄
- 委員 山口 薫
- 委員 東山 洋昭
- 委員 杉本 公文
- 委員 長田喜巳夫